

Silicon Mobility の OLEA® T222 FPCU が SGS-TÜV Saar による ISO 26262:2018 ASIL D の認証を取得

仏ソフィア・アンティポリス（2020年5月5日）-クリーン、安全、スマートなモビリティ向け制御ソリューションをけん引するテクノロジー企業のシリコン・モビリティは同社の OLEA® T222 FPCU が SGS-TÜV Saar による ISO 26262:2018 ASIL D の認証を取得したと発表しました。これは同社のソリューションが、電動パワートレイン制御のような最も高い安全性を必要とする箇所に適応することが可能であることを確認するものです。

シリコン・モビリティの Rainer Kallenbach CEO は次のように語っています。「今回の認証の取得は最上級の安全要求に適合する製品の車載マーケットへの供給に対する我々のコミットメントを示すものです。OLEA®T222 FPCU は、特許取得済みの機能安全技術である SILant®を組み込んでおり、パフォーマンスの低下やソフトウェアへの影響のない、ASIL D システム設計を保証します。」

ISO 26262,の道路車両に対する機能安全基準は国際標準化団体(ISO)により制定された、車両における電気電子組み込みシステムについて、それらが安全に関する厳しい基準に従って誤動作を最小限に抑えるように設計されていることを保証するための基準です。昨今の車両内のデバイス、ケーブル、コネクタの多様化により、機能安全は自動車用半導体にとってますます重要になっています。Automotive Safety Integrity Level (ASIL)は ISO26262 で定義されているシステムの安全要求レベルであり、ASIL D が最も厳しい安全要求です。

今回の認証は SGS-TÜV Saar によりシリコン・モビリティの OLEA® T222 FPCU の設計プロセスにおける安全要求達成に向けた安全分析、設計の詳細な監査を通じて達成されました。(OLEA® T222 FPCU は Safety Element out of the Context (SEooC)として開発しており、前提となるシステムとして inverters/e-motors, DC/DC converters, On-Board-Chargers and electric drive とその安全要求を想定して設計を実施しています)。

シリコン・モビリティについて:

2015年に設立されたシリコン・モビリティは、クリーン、安全、スマートな車載向けマイクロコントローラーのテクノロジーリーダーです。当社は、柔軟かつリアルタイムの安全でオープンな半導体ソリューションを設計・開発・販売し、自動車のエネルギー効率を高め、CO2等の排出を削減しつつ、乗客の安全を維持できるようにしています。

シリコン・モビリティの製品は、ハイブリッド/電気自動車の電気モーター、バッテリー、エネルギー管理システムを制御します。シリコン・モビリティの技術を利用することで、ユーザーはシステム効率を改善し、モーターのサイズ、重量、コストを削減

して、バッテリーレンジと耐久性を向上できます。当社の技術と製品により、ユーザーは自動車パワートレイン電動化と完全自動運転の導入を加速させることができます。シリコン・モビリティの本社は、フランスのソフィア・アンティポリスにあり、ドイツ、カリフォルニア州シリコンバレー、中国、日本の世界各地に拠点を展開しています。詳細情報については、www.silicon-mobility.com をご覧ください。

Communication/Press contact:

Silicon Mobility

David Fresneau

Tel: +1 415 513 2426 david.fresneau@silicon-mobility.com